


ふりがな 氏名	えくに ともや 江國 友哉	都道府県 岡山県	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市立桑田中学校 英語科 講師 ・NPO法人 国際協力研究所・岡山（ICOI）正会員 		
私のESD活動	<p>中学校の教員として、未来を生きる子ども達が高い視野で社会を見る力を養うことができるような実践をする</p>		

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

岡山市立桑田中学校の生徒に、ESDの視点から2つの授業を行った。ボランティア体験を生かした東日本大震災に関する授業と環境事業団「アスエコ」と連携した温暖化防止に向けた環境教育である。

○東日本大震災に関する授業について（2015年10月と2016年3月の計2回、学年一斉授業として実施）

中学1年生約250人に、福島県浪江町の「希望の牧場・ふくしま」でのボランティア活動を教材とした授業実践を行った。1回目の授業では、被ばくした牛を飼いつける牧場の姿や、現在も帰還や居住が制限されている地域の実態を伝えた。自分自身が体験したからこそ実感でき、みんなに話をするのができたと話し、生徒たちは体験の大切さを知ることができた。2回目は、防災教育の観点から授業を行った。生徒たちは、1人の犠牲も出すことなく津波から避難することができた小学生の物語（『請戸小学校物語』）を読み、その小学生たちの姿から、どんなときでも、「落ち着いて考え、判断し、正しく行動することの大切さ」を学ぶことができた。

○温暖化防止を目的とした環境教育について（2016年7月に、学年一斉授業として全学年で実施）

今後の桑田中学校におけるESDの充実に向けたきっかけづくりとして、桑田学区で環境事業団「アスエコ」と連携して、温暖化の仕組みや家庭でできる省エネ法について関心・理解を深め、子どもたちの行動の変容を促した。

具体的には、子ども達は講演会を聞いた後に、自分が夏休みに取り組む活動を3つ選び、取り組むことにした（夏休みの課題）。

○非営利セクターとして 2016年8月17日に開催の岡山県環境教育ミーティングを実行委員として運営する。

○「NPO 国際協力研究所・岡山 ICOI - COINN ホーム」 http://www.coinn.org/会員団体紹介/npo_国際協力研究所・岡山-icoi/314-特定非営利活動法人-国際協力研究所・岡山.html

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いますか？

今後のESD活動として予定していることは、いくつかある。

まずは、「希望の牧場・ふくしま」への継続支援である。東日本大震災からすでに5年以上の時間が経過しているが、福島県内には現在でも立ち入りや居住が制限されている地域があり、いつ崩壊してもおかしくない状態で残されている旧請戸小学校の校舎が残されている。こうした実態を、今後も伝えていくべきだと考えている。そのような状況の中で、命の重さと復興への希望を訴えているのが、「希望の牧場・ふくしま」である。この牧場の活動や牧場主の吉沢さんの生き方から学ぶこと、子ども達に伝えられることは多くある。次に、環境教育に関して、私は現在、岡山県が推進している事業である環境学習指導者養成のOJTを積んでおり、年内に正式な指導者として登録される。その後は指導者として、自分が勤める中学校の生徒だけでなく、他校の中学生や小学生、地域の方など、様々な方が環境について学び、考えることのできる場をつくっていく。また、現在実践中の活動や今後の取り組みを「岡山県 環境教育ミーティング」などの場を利用して発表していきたい。最後に、今後については、このコンファレンスで出会うことができた方々とのつながりを大切に、中学校教員の強みを活かし、学校現場と多様な方々や機関教育との協働によって子ども達の学びの機会を充実させ、未来を生きる世代を育成するという立場から、ESD全体の発展に貢献したい。